

あかしあ

AKASHIA

●発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
 ●連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
 電話 03(3849)1188
 FAX 03(3849)7001
 ●印刷 足立区大谷田就労支援センター
 法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

第16回 ふれあいフェスティバル

足立あかしあ園施設長 渡邊正人

連日の猛暑、当日も35℃を越える猛暑となりました。参加者の皆さんの健康が心配されましたが、熱中症になる方もなく無事に終了できたことに感謝申し上げます。

建物の改修があり2年ぶりの開催となりましたが、今回は青井小学校3年生の皆さん100人にポスター制作をお願いでき、正面の看板に花を添えることができました。図工専科の先生や校長先生に快く受けていただき、夏休み前からの取組をしていただきました。

ボランティアも例年を大きく上回り162名の方々に協力いただきました。なかでも栗島小、青井小、加平小、青井中学校のPTAの方には「焼きそば」をはじめ、交通整理や駐車場等々と大変お世話をいただきました。これには、4校のPTAが持ち回りで責任校となり「足立あかしあ園」への協力体制を確保していただき、組織的な結合の賜物となっています。

また、今年度より「東京綾瀬ライオンズクラブ」があいのわ福祉会への協力の一環活動として、最初に足立あかしあ園からスタートすることになりました。11名のクラブの方々が参加され、多大なご支援をいただきました。

利用者お一人おひとりが目的を持ち、活動に意欲的に取り組み大きな成果を得られることができました。当日は千名を越える方々が来園され、暑さと混雑によりご迷惑をおかけしたことも多々あったと思います。次回の「ふれあいフェスティバル」に向けて反省を始めております。お気づきの点がありましたら園までお知らせ下さい。

ご協力を頂いた皆様に紙面を通じ感謝申し上げます。



平成22年度第2回 評議員会・理事会報告

日 時 平成22年9月22日(火)
 評議員会 午前10時から11時10分
 理事会 午前11時15分～午後11時35分
 場 所 足立あかしあ園 3階 会議室
 議 事

報告事項

「あいのわ支援センター」の現況について

議 案

- 第1号議案 施設長等の人事について
- 第2号議案 足立あかしあ園の空調設備等緊急工事実施について
- 第3号議案 平成22年度第1次補正予算について

●あいのわ支援センターからのお願い●

呼称・愛称の募集

12月に新規オープン予定の谷中支援センターの各所の呼称を募集いたします。

- ①ケアホーム谷中第1ホーム(〇〇〇〇)
- ②ケアホーム谷中第2ホーム(〇〇〇〇)
- ③シヨートスティ谷中(〇〇〇〇)

以上3か所について例えば、竹ノ塚あかしあの杜(きずな・のぞみ・なごみ)のような、呼びやすい、親しみやすい呼び名を付けてください。

期限 平成22年10月30日
 提出先 法人本部・事務局まで

足立あかしあ園だより

22年度もあつという間に半分が過ぎました。4月から入ってきた新しい利用者の方の中には、朝は大きな声で「おくはーよー」と声をかけて周囲の人を元氣付けてくれる方や、所属以外のグループに遊びに行き大きな声で楽しそうに音楽にあわせて歌を披露してくれる方など、今ではずっと前からここにいたかのように仲間とも職員とも打ち解け、園での生活を楽しんでいきます。

さて、後半は10月にはDグループ、11月にはBグループの旅行、12月には忘年会とまだまだイベントが待っています。夏の猛暑、酷暑を乗り切った足立あかしあ園の全ての仲間が後半のイベントに向けて猛チャージ！各利用者、職員が22年度を120%楽しもうと次の楽しみへの準備をしています。

(堀内)

綾瀬あかしあ園だより

連日の猛暑が続いています。皆様、体を壊したりしていませんか？綾瀬あかしあ園の皆は、なんとか元気に通所しています。

8月の終わりに、地域生活相談の勉強の一環として、新宿区を中心に居

宅介護支援、

訪問介護事業

など、その

他様々な事業

に関わり、活

躍されている

秋山正子さん

をお呼びして

「地域で生き

る」というテ

ーマで講演を

して頂きました。

秋山さん

のお話や本

の中で書かれて

いた中で印象

に残っている

言葉がありま

す。

●人はどう

生きるかを常

に考えている

が、どう亡く

なるか、どう

最後を迎える

のかを考えて

いない。本来

はイコールであるべき。

その人にと

ってどの暮らし方が理想であるのか、在宅なのか、施設なのか、ケアホームなのか。自宅で生きるといことは当たり前前の事。秋山さんが大事にしてい



る仕事の流儀は①隣のおばさんにな

る、②その人の輝きを引き出す、③今

生きている喜びを味わう・だそうで

す。お話を聞いていて思ったのは、実

にフットワークが軽く非常に頭の柔ら

かい方だなと思いました。国の政策だ

けにとらわれない、自由な発想や行動

力に勉強させられました。私たち職員

も、カチンコチンに固まった自分の頭

を切り替えて、1人ひとりのための支

援とは？を考えながら支援にあたられ

ばと思います。

9月、10月と旅行がスタートしてい

ます。暑さに負けずみんなと一緒に楽

しみましょう！

(森)

竹の塚あかしあの杜きずな (生活介護入所) だより

きずなで

は、7月29日

に毎年恒例

の夏の行事、

「夕涼み会」

が開催されま

した。当日は

雨天の為、当

初予定されて

いた屋上では

なく、1Fの

食堂での開催となりました。今話題の

矢島美容室に扮した司会者の登場に

「意外に似合っていない？」「あんな人



いるよね？」などの声が飛び交う中、

会は暑を閉けました。

今年の「夕涼み会」は主に、スイカ

割り、かき氷早食いトーナメント、カ

ラオケ大会などのプログラムを行い

ました。スイカ割りでは、なかなか

スイカを

割ること

が出来な

い利用者

への応援

に熱が入

り、他利

用者の助

太刀も加

わり、スイカが割れた瞬間には大きな

拍手と歓声に会場は大盛り上がりでし

た。

続いて職員総勢15名&飛び入り参加

の利用者2名によるかき氷早食いト

ーナメントが行われました。参加者が顔

をゆがませ、必死にかき氷をほおばる

姿に、見ているこちらまで体が震えて

きそうでした。最後に行われたカラオ

ケ大会では「歌いたい人いますか？」

の呼びかけに「はい！」とあちらこ

ちらで手が上がり、みんな気持ち良さ

そうに歌声を響かせてくれていまし

た。

飲みものはお茶、ジュースと、アル

コールもちよっぴり。つまみには焼き

そば、焼き鳥、チキンナゲット。スイ



力に、枝豆、キュウリ、ウィンナー、お菓子等々が振舞われました。楽しい企画と美味しい食事に利用者、職員一同、心も体も満たされ、『涼』を感じられた夏の夜を過ごせたのではないかと思います。

(中本)

竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

8月27日に全体レクリエーションを行いました。内容は【かき氷】と、浅草にある『時代屋』という業者を呼んでの【紙芝居】です。

皆さん、紙芝居というのは、実は『おまけ』だったのをご存知ですか？お菓子を販売するための、客寄せとして行われていたようです。



今回、紙芝居の前に『クイズ』があり、正解すると『時代屋の木札』がもらえるとなっております。勢いよくあちらこちらから手が挙がっていました。

私も初めて紙芝居屋さんの紙芝居を観たのですが、引き込まれるの、なんのって!!食い入るように観ていた利用

者もたくさんいました。最後には感動して涙を流していた利用者も…。

また、駐車場では【カキ氷】を行いました。地域や近隣の施設にもお声かけをしたので、たくさんの方に寄っていただくことが出来ました。



酷暑といわれる今夏ですので、一時でも涼んでいただけたのなら、やった甲斐があったなあと思います。今号が出る頃には、秋を感じられるようになってくれることを願って…。

大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

(細野)

ここまですべてとなると最早、暑いというより熱いと云う方が相応しいのではないかと、そんなことすら思わせるような、体温よりも気温が高いこともあった今年の夏ですが、私ども大谷田就労支援センターのパソコン事業室では、別の意味で「熱い」冬に向けての準備を着々と進めていっております。

利用者・職員ともに8月中にそれぞれ

最低10案ずつ、日常の業務の間をみながら23年度版の年賀状のサンプルを作りました。

それぞれ普段使いたくないアブリケーションを、またはこの機になつて必死になつて覚えたアブリケーションを使い、手堅く誰にでも選んでもらえるようなシンプル

な定番ものから、ユニークで見た目にも楽しいポップな感じのもの、そして大事な家族の写真を引き立てるように気を配ってデザインしたもので、普段から制作に携わっている人もそれ以外の仕事をしている人もそれぞれ苦心しな



がら、そして時には物作りの楽しみを味わいつつアイデアを練りに練り、新しい技術や知識を身につけながら作った多種多様な作品。



この記事をお読みいただいている皆さまにもきつと気に入っていただけるデザインのものがあるはずですよ。

これらの数多くの作品は10月に発行する予定になっております大谷田の年賀状カタログに掲載され、様々な方法で配布されます。皆さま方には是非ともお手にとつてご覧いただけたらうれしいことこの上なものであることよなあ、などと感じている次第であります。

「熱い」季節が終わって秋になったら、少しでも多くのご注文をいただきたいという「熱い」気持ちを持つて行う年賀状のカタログを持つての営業活動が始まります。利用者・職員が一丸となつてより多くのお客様に喜んでいただける様、がんばってまいります。

皆さまのお宅にもお邪魔することもあるかもしれませんが、そのときにはどうか応援、よろしくお願ひ申し上げます。(齊木)

神明福祉園だより

記録的な猛暑となった今年の夏でしたが、9月になってまだまだ暑い日が続いております。今月号が発行される頃には過ごしやすくなっているのでしょうか？

さて神明福祉園では各グループ、班で外出活動が始まりました。1グループでは綾瀬、竹ノ塚に分かれてのプール外出でした。梅雨の時期で天候が変わりやすい中、無事に行ってくるこ

とが出来ました。竹ノ塚うきうき館に行つた際には昼食・トイレ等で「あかしあの杜」におじやまさせていただきありがとうございます。とうござい



ました。神明にいた職員との再会で皆さんとても嬉しそうなお表情でした。

2グループではアース班がららぽーと東京ベイに行きました。ららぽーとの中でも一番広いところですのでとても1日では廻りきる事は出来ませんでした。皆さん食事、買物と1日笑顔で楽しんできました。

コスモ班は6月に選択外出でプール、西新井アリオ、大谷田公園でパークキューと分かれて行き、

8月には梨狩りに行ってきました。暑い中で取った梨はさぞかし美味しかったです。

さて9月に

はいよいよ旅行に行きます。一泊旅行は16日、17日と30日、10月1日の2班に分かれ河口湖に、日帰りは東京デイズリゾートまで行く予定です。まだまだ暑さは続きそうですが、体調管理をしっかりして楽しんできたいと思

神明デイサービスセンター

だより

もう9月だ

というのに、

暑い日が続い

ていますね。

そろそろ涼し

くなつてほし

いと思う今日

この頃です。

さて、今

回はまず、



リハビリの時

間について、

その一部をこ

紹介したいと

思います。講

習会以外の時

間をデイでは

リハビリと呼

んでいます。

体操や個別の

プログラムで

それぞれ過ご

されています

が、トランプ

や麻雀のゲー

ムと、革細工

や籐細工、塗

り絵と言っ

た「ものづ

くり」に大き

く分けられま

す。

後者の中で

今、女性利用

者を中心に

ちばん盛り上

がっているの

がエコラフト

です。ご存じの方

いらっしゃる

方もい

らっしゃるか

もしれませ

んが、エコク



らスタートし、今は写真のような手提

げのバッグまで作るようになりまし

た。ちょっと分かりにくいかもしれま

せんが、かなりステキでいい感じ

です。売ってほしいとの希望もあり

ます。残念ながら販売はしていません。

ほしいと思うものを作って、自分で使

ったりプレゼントしたり…男性の利用

者が奥様のために作ることもしばしば

あり、「喜んでたよ」と照れながら報

告してくれると、こっちまで嬉しくな

ります。

前回もお伝えしましたが、今年度

から開始したアリオ亀有での外食も、7

月23日に2回目を無事終了しました。

いつもはめんどくさいと外出を渋る利

用者も、職員がびっくりするほどいい

笑顔で参加してくれました。9月にも

3回目の予定があります。これもまた

次回、ご報告します。

9月と言えば、恒例になった綾瀬メ

トロギャラリーでの作品展がありま

す。16日(木)から30日(木)まで、

絵手紙と陶芸の作品を展示しますの

で、ぜひ覗いてみてください。ちょっ

と感動するかも…

というわけで、夏バテしているご

ろではありませんが、皆さんも体調に

気をつけてください。

(落合)

神明福祉作業所だより

今年の夏は、猛暑で、寝苦しく大変でした。作業所の皆さんは、自主通所なので、バスや電車を乗り継ぎ作業所に着いた時は、汗びっしょりになりながらも毎日元気に通所しています。

さて、この夏の作業所の様子ですが、『あおぞら』グループの7月は、区から頂いている封入・封緘の作業が集中し、忙しい1ヶ月間を送りました。

いつも作業が中心の『あおぞら』グループですが、夏休み前の8月5日に、社会生活を学ぶ機会として、社会生活力アップセミナーを行いました。

このセミナーは、昨年度から職員が企画・実施しています。今回のテーマは、『挨拶の大切さと気持ちのいいコミュニケーション』でした。



日頃の生活の中でのマナーについて、利用者がわかりやすいように、身近な話題を取り上げ、グループワークでみんなの意見も聞きながらマナーについて話し合いました。

『かりん』グループは、暑い夏の間も公園清掃や農園作業を行っています。3月に種植えをして、一生懸命水やりと草取りをして育てたジャガイモ「キタアカリ」を7月2日に収穫しました。今年の春は寒さで天候不順な日が多く、また収穫の時期は急に暑くなり、早くに葉っぱが枯れてしまいました。収穫したジャガイモはちょっと小ぶりでしたが、たくさん収穫をすることができ、味もとてもおいしかったです。

今年、本当に暑い夏でした。皆様、体調を崩すことなく過ごされたでしょうか？

グループホームオハナだより

オハナでは、みなさんの体調が心配ではありましたが、暑さに負けることなく、元気に過ごしています。まだまだ、残暑が厳しいようなので、引き続き、体調には充分、気をつけて、過ごしていきたいと思っています。

さて、夏休み中、自宅に帰省せず、オハナで過ごした利用者は、美味しいランチを食べに出かけました。今年の

夏は、散歩や外食の機会がなかなかとれず、久々の外食に、みなさん、大喜び！ お腹いっぱい食べて帰ってききました。普段とは違う1日に、笑顔いっぱいでした。

また、8月1日でオハナは7歳の誕生日を迎えました。年々、“家族”のような絆が生まれ、互いを尊重し、支え合いながら、個々に成長しているのを感じます。毎日、笑いが絶えることなく、元気に過ごしているのも、オハナを支えてくださる多くの方々のおかげだと、深く感謝しております。この場をおかりして、お礼申し上げます。

いつまでも、みなさんが健康で明るく、元気に生活していけることを願っています。

今後共、どうぞよろしくお願い致します。(永山)

あいのわ支援センターだより

あいのわ支援センターでは、「あいのわ支援センター谷中」の12月オープンに向けて準備を進めております。建物の建設も外観が3階まで出来上がり、建物内の設備や内装、備品の選定に検討を重ねています。

ケアホームの入居申込み受付は7月中旬に締め切られ、法人入居者選考委員会において12名の入居内定者を8月

上旬に決定いたしました。応募総数32名という多くの方が入居を希望される中、12名の入居内定者を選考することは非常に困難な作業でした。また今回の入居申込み書類を拝見し、利用者様が地域で生活していく上での困難な場面を再確認いたしました。入居を希望される利用者様全員が入居できるよう、もっと多くのグループホーム・ケアホームが必要であると強く思います。

今回、入居されない利用者様も「あいのわ支援センター谷中」のショートステイ、居宅支援サービス、入浴サービスなどをぜひご利用ください。利用者様の住み慣れたご家庭での生活をどのように支援していけるか、職員一同、日々考えています。今後みなさまのご指導をお願いいたします。



(青木)

後援会だより (平成22年7月～8月) 敬称略、順不同

◇特別会員 (10 1万円)

日商岩井綾瀬マンション自治会、庄司光男、武内啓友、栗島幼稚園
青井3丁目町会、トープラ販売(株) 代表取締役 利根川忠夫

建設工機(株) 代表取締役 佐々木継男、東京綾瀬ライオンズクラブ
磯部幸子、中里俊夫、野口節、重田久美子

◇団体会員 (10 5千円)

青井4丁目第4自治会、西加平郵便局長 清水義孝

◇一般会員 (10 3千円)

山本孝子、吉澤栄、穂積一良、岸本知鶴子、西野和彦

高山博治(20)、大野守幸、長島広侖、下川薫、鴨下令子、橋本隆

西野幸男、高島節郎、谷古宇彰、飯塚栄、霜田文夫

(有) あさいな保険サービス代表取締役 朝夷弘一

(有) ヘルプアンドケア代表取締役 小笠原昌俊

◇寄付者

服部隆男、西村文雄、野澤カツヨ

誇れる心るさと足立を創る会、瀬田育代

★今年も多くの皆様からの後援会へのご加入、ご寄付有り難うございました。今後
もどうぞよろしくお願い致します。★



編集後記

今回は、国に先立ち制定が進められた障害者に関する条例について考えて
みたいと思います。全国初の条例が、2006年に千葉県において「差別禁

竹の塚あかしあの杜「なごみ」

(平成22年7月～8月)

短期入所事業利用状況

延べ利用人数	81名	内児童	11名
延べ利用日数	220泊	内児童	42泊

止条例」が本会議に於いて全員一致で可決されました。又、北海道においても
2010年「北海道障がい者条例」が4月から全面施行したそうです。期せず
して両県とも女性知事で、自ら多くのタウンミーティングを重ね、広く県民の
意見を進め制定にいたっています。

条例を作る意義とはなんでしょうか。

千葉県の例では、地域福祉像として「誰もが
が、ありのままに、その人らしく地域で暮ら
す」を掲げ、「健康福祉千葉方式」といわれる
県民の主体的な運動として広がっていったこと
に大きな意義があったと思います。

なぜ今「条例」が気になるのかと申します
と、去る7月8日～9日に全国グループホー
ム・ケアホームの研修会に参加した折に、千葉
県の発表を聞いて、取り組みが進んでいるなど
実感しました。例えば、家賃補助や重度・重複
障害ケアホーム運営補助金等、そして発表者の
推進する意欲が感じられました。その背景に
は、条例があったのだと思いました。

又、今回9月4日・5日に開催された全肢連
全国大会北海道大会に於いても条例が施行され
た事を知りました。

これから具体的な施策にどんな風に反映され
ていくのか期待されます。

私たちも活動を進める上で、広く皆さまの共
感を得ることが今よりもっと豊かな環境を作る
ことに繋がると改めて思った次第です。

●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をしていくことを主とし
て後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々に「賛同いただき、後援会への加入」ご支援をお願い致します。
申し込み・お問合せは後援会事務局 電話(3849) 1188まで

募集のお知らせ

時どきに、編集後記の中で季節に合った俳句を載せることがあります。雑誌や
テレビ、カルチャーセンター等でも講座が盛んかと思えます。
そこで法人の関係各位の中にも、ご趣味の方が多くはと推察いたしました。
ぜひ法人ニュースに掲載させて頂きたく俳句・川柳などを募集いたします。

記

期間	年間を通じて
宛先	法人事務局・法人ニュース係
内容	俳句、川柳 (匿名希望であれば明記して下さい)